

平成 29 年度公益社団法人鹿児島県栄養士会事業報告

1. 事業実施報告

各医療圏における管理栄養士の連携と強化を図るため各医療圏関係者と情報交換を行うための準備を行った。特に奄美地域との連携ではインターネットを利用した研修会の配信を実施し、平成 30 年度以降も継続して実施可能な基盤となった。鹿児島市慢性腎臓病（CKD）予防ネットワークを推進するため、関係する研修会に積極的に参加した。また、CKD 予防ネットワークに参加可能な人材の登録を行った。鹿児島県栄養士会研修会主催の研修会は計 3 回実施した。参加者合計は延べ 372 名であった。さらに、16 単位分の生涯教育研修会（1 単位 1.5 時間）実施し、参加者合計は延べ 705 名であった。地域ケア会議へ管理栄養士の派遣が要請される可能性が高いことから、本事業が進んでいる大分県へ会員を派遣し、ケア会議の現場を視察した。派遣した会員を中心として、地域ケア会議へ参加する管理栄養士向けの研修会が平成 30 年度に可能となった。

また、燃ゆる感動かごしま国体で利用するレシピ集の準備に着手した。

平成 29 年度から垂水市在住高齢者（65 歳以上）を対象に運動・栄養・医療介入が高齢者の生活機能・身体状況の生命・機能予後にどのように関係するのか調査する「垂水研究」が開始された。本年度は食事調査を 380 名を対象に実施した。

昨年度は鹿児島県と災害時の協定を結んだが、今年度は鹿児島市と「災害時における福祉避難所等の人的支援に関する協力協定」を締結した。甚大災害発生時に求められる栄養支援に対して、的確に対応するための体制作りをさらに整えなければならない。本年度は災害時に活動する JDA・DAT メンバーを 34 名育成した。29 年度末で 84 名となっている。また県内で開催された防災関係イベントに積極的に参加した。

鹿児島県民向けの事業として第 11 回県民公開講座を始良市で糖尿病予防をテーマとして開催した。参加者は 365 名であった。「管理栄養士によるクッキング講座」は例年どおり毎月開催され、参加者は延べ 228 名であった。

「栄養 110 番」は毎週水曜日に、歯と口の健康週間、小児糖尿病サマーキャンプ、全国糖尿病週間関連行事などに共催者として参加した。その他、健康づくりに関する関連団体が主催する数多くの事業へ参加した。

食生活の改善を促すための講演会、テレビでの料理番組や栄養指導などに延べ 88 名の講師を派遣し、さまざまな機会です食事と栄養の専門的知識を普及した。